



コミュニティ・スクールだより

第 4 号

平成30年9月27日

発行者 東神楽小学校



学校運営協議会

地域連携部

東小 学校応援団

～地域とともにある学校づくり～

腹式呼吸で心も体も元気に～全校朝会講話

9月4日（金）の全校朝会で学校運営協議会の南 春雄さんに講話をしていただきました。

学校支援部



南さんは日本詩吟学院認可の団体に所属して長く活動しており、この日は児童にも分かりやすい俳句と和歌を吟じていただきました。初めて耳にしたという子がほとんどでしたが、南さんの朗詠に聞き入って会場は水を打ったような静けさに包まれました。

過去に大病を患ったとき詩吟の腹式呼吸で体力が回復したという体験談も交えながら、詩吟の奥深い世界の一端を紹介していただきました。

過去に大病を患ったとき詩吟の腹式呼吸で体力が回復したという体験談も交えながら、詩吟の奥深い世界の一端を紹介していただきました。



ボランティアの見守りとともに～マラソン大会

9月20日（木）爽やかな秋晴れの下、マラソン大会を実施しました。

学校支援部

今年度より、コースの安全確保のための関門員を学校運営協議会を通してボランティアの方々にお願いしました。この日は町の地域学校協働本部から渡辺さんと谷口さん、そしてGTAの南さんに来ていただき、児童に危険がないか、急な体調変化がないかを見守っていただきました。安全確保だけでなく、児童への励ましの声掛けが選手の力となり、何よりもありがたく感じました。



1 学期学校評価を受けて～第 2 回学校運営協議会

8月30日（木）今年度2回目の学校運営協議会が開催されました。会議の中では、1学期末に実施した学校評価を基に子どもたちの様子を交流しました。この中で、委員からは、家庭学習の取組方法や児童の登校状況について質問が出されました。また、三者を比較するため質問項目をそろえることや行事の安全確保のため学校運営協議会を活用することなどご意見をいただきました。今後も各部が計画どおりに学校支援を推進していくことを確認して閉会しました。



子ども・学校・家庭・地域の取組と評価

A 3.5～4.0 B 3.0～3.4 C 2.5～2.9 D 0～2.4

子ども		達成率	評価	学校		達成率	評価	家庭		達成率	評価
1	授業中は進んで学習に取り組んでいる。	3.5	A	1	基礎・基本の定着を図り、どの子ども分かる授業をする。	3.2	B	1	お父さんは、授業が分かりやすいと言っている。	3.3	B
2	家庭学習に取り組んでいる。(10分×学年+10分)	3.6	A	2	宿題を出したり、家庭学習の仕方を教えたりする。	3.5	A	2	「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習が習慣化するように努めている。	2.9	C
3	読書が好き	3.4	B	3	朝読書、読み聞かせによる読書の習慣化を図る。	3.3	B	3	図書館を活用したり、お父さんと一緒に読書したりして、読書への意欲化を図っている。	2.5	C
4	早寝・早起き・朝ごはんができています。	3.2	B	4	基本的な生活習慣の定着を図る。	2.9	C	4	2学期末に調査		
5	いじめや人の嫌がることをしていない。	3.4	B	5	豊かな心を育む道徳教育を推進する。	3.1	B	5	友達とよりよい関係となるように話を聞いたり、相談にのったりしている。	3.5	A
6	自分にはよいところがある。	3.2	B	6	よさを自覚・発揮させ、楽しく学校生活を送る指導に努める。	3	B	6	頑張りを認めて、褒めたり励ましたりしている。	3.4	B
7	体験的な活動(飼育や栽培、交流学習など)でうれしかったり、楽しかったりすることがある。	3.7	A	7	人や自然、社会とかかわる豊かな体験活動を取り入れる。	2.9	C	7	2学期末に調査		
8	明るく元気に挨拶し正しい言葉遣いをしている。	3.4	B	8	明るく元気な挨拶と正しい言葉遣いの指導と示範をする。	3.1	B	8	明るく挨拶や正しい言葉遣いができるよう注意を払っている。	3.5	A
9	将来の夢や目標をもって、がんばっている。	3.6	A	9	目標を示し振り返りをさせながら、教育活動を展開する。	3	B	9	2学期末に調査		
10	2学期末に調査			10	係や当番等の役割を理解させ、責任をもって継続的に取り組ませる。	3.1	B	10	家での役割と責任を与え、お手伝いなどをさせている。	3.0	B
11	休み時間は体を動かして遊んでいる。	3.5	A	11	一校一実践(マラソン、縄跳び)等で、継続的な体力づくりを進める。	3.2	B	11	体力向上・健康増進のために、外遊びの励行や徒歩での登下校(バス通学以外)をさせている。	3.3	B
12	給食はほとんど残さず食べている。	3.1	B	12	食育、アレルギー対応、保健指導を充実する。	3.2	B	12	お子さんが好き嫌いをせず、バランスよく栄養がとれるようにしている。	3.3	B
13	TVやゲームの時間は2時間以内になっている。	3	B	13	基本的な生活習慣の定着を図る。	2.9	C	13	TVの視聴時間やゲームの時間のルールを決めている。	2.9	C